

分野	授業科目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当講師
専門分野Ⅱ 母性看護学	母性臨床看護論Ⅲ	周産期の健康診査・ 治療・周産期の異常	1	15	2年次前期	京都第二赤十字 病院医師

テキスト(発行所)	系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院)
テキスト以外の教材、 参考図書	参考資料を適宜配布する

学習のねらい	ハイリスク妊娠、分娩、産褥について理解し、観察と看護の視点を学ぶ。
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠の診断、検査について理解する。</li> <li>2. 妊娠期の異常、合併症について理解する。</li> <li>3. ハイリスク妊娠、分娩の診断、治療について理解する。</li> <li>4. 産科手術と分娩時の異常出血の診断、治療について理解する。</li> </ol>

#### 学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回 (45分)	妊娠初期の診断、検査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠診断 超音波検査</li> <li>2. 妊娠初期検査 身体の変化</li> <li>3. 妊婦健診スケジュール</li> </ol>	産婦人科医師 講義
2回	妊娠中・後期の診断	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊婦健診 妊娠中期・後期の検査</li> <li>2. 胎児の健康状態の診断 (超音波断層法、ノンストレステスト)</li> </ol>	産婦人科医師 講義
3回	妊娠の成立と初期の異常	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠悪阻</li> <li>2. 流産・早産</li> <li>3. 子宮外妊娠</li> <li>4. 多胎</li> <li>5. 合併妊娠</li> </ol>	産婦人科医師 講義
4回	妊娠中の合併症	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症</li> <li>2. 糖尿病</li> <li>3. 妊娠と薬物の影響</li> </ol>	産婦人科医師 講義
5回	異常妊娠	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 胎位異常</li> <li>2. 羊水量の異常</li> <li>3. 子宮内胎児発育遅延</li> <li>4. 血液型不適合</li> </ol>	産婦人科医師 講義

6回	異常妊娠	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前置胎盤</li> <li>2. 常位胎盤早期剥離</li> <li>3. 妊娠高血圧症候群</li> <li>4. 胎児機能不全</li> <li>5. 胎児モニタリング</li> </ol>	産婦人科医師 講義
7回	異常分娩	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハイリスク分娩 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 遷延分娩</li> <li>2) 過強陣痛</li> <li>3) 産道の異常</li> <li>4) 産科手術</li> <li>5) 周産期医療のシステム(母体搬送・チーム医療・周産期ネットワーク)</li> </ol> </li> </ol>	産婦人科医師 講義
8回 (90分)	異常分娩	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 分娩時の損傷と出血</li> <li>2. 異常出血</li> <li>3. 産科 DIC ・ショック</li> <li>4. 羊水塞栓症</li> <li>5. ハイリスクの産褥</li> </ol>	産婦人科医師 講義

<b>単位認定の方法</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 15時間のうち、12時間以上の出席があることとする。時間配分は周産期の健康診査、治療を3時間、周産期の異常を12時間とする。</li> <li>2. 母性臨床看護論Ⅲの筆記試験は、100点満点で、60点以上を合格とし単位認定とする。</li> </ol>
<b>受講上のアドバイス</b>	<p>妊娠、分娩、産褥は正常に経過するのが本来ではあるが、急激に悪化し母親と胎児に影響することがある。常に健康診査を通して観察を怠ってはならない。正常経過を把握した上で、異常かどうかのアセスメントと対処方法を知り、母親と児の安全を守ることを学ぶ。</p>